

フィットネスクラブレフコ
新型コロナウイルス感染予防運営方針の策定について
＜ストップウイルス・新ガイドライン＞

改定日 2020 年 11 月 1 日

1. 全体指針

・ 入館者の管理徹底

- 入館者への告知を行い、ガイドラインの遵守を徹底します。
- 入館時に体調チェック、体温計測を徹底します。
- 家族に感染者がある場合や、海外からの帰国後2週間以内、体調の優れない方や発熱症状がある方の利用は控えていただきます（※利用をお断りする場合がございます）。

万が一ご本人様からの申し出がなく、そのような情報をクラブ側が入手した場合は、ご確認させていただく場合がございます。

・ 従業員管理の徹底

- 出勤前体調チェック、検温（出勤前・勤務休憩時・退社前）は1日3回
- 家族に感染者がある場合や、海外からの帰国は2週間以内、体調が優れない場合は勤務いたしません。

・ 館内消毒・換気・手洗いの徹底

➤ 始業前の各エリア消毒清掃

ここでいう「各エリア」とは下記に該当するエリアのことである

- フロント……………「カウンターや棚上、備品」
- ラウンジ……………「テーブルや棚上、備品」
- トイレ……………「ドアノブ、便座、洗面台、備品」
- シューズロッカー…「扉と鍵周りの清掃」
- 更衣室……………「キーバンド・周辺の清掃、備品」
- パウダールーム…「洗面台、備品」
- 浴室・脱衣室…「シャワー周り、棚、備品」
- サウナ・採暖室…「座面、備品」
- リラクゼーション…「マッサージチェア・リモコン」
- マシンジム…………「運動器具、床、マット、備品」
- スタジオ…………「マット、鏡、備品」
- プール……………「シャワー周り、目洗い場、床、備品」

◇ 店舗により存在しないエリアも含め表記するものとする。

◇ 「消毒清掃」とはアルコールの噴霧とふき取りのことである

➤ 最低1時間ごとの各エリア換気

ここでいう「各エリア」とは下記に該当するエリアのことである

- フロント・ラウンジ…「窓や排煙窓がある場合はあける」
- サウナ・採暖室…「スタッフが点検時に扉をあける」
- リラクゼーション…「当面は扉を開けて利用とする」

- マシンジム……………▶「窓や排煙窓をあける」
- スタジオ……………▶「窓や排煙窓、または扉をあける」
- プール……………▶「窓や排煙窓、または扉をあける」
 - ◇ 店舗により設備構造が異なるため、この限りではないとする。
 - ◇ また天候により対応を変更する場合もありうる。

➤ 共有箇所の定期的な消毒清掃

- 各エリアのドアノブやトイレ、フロントは定期的にスタッフが消毒清掃を行います。
- ロッカールームやパウダールーム、サウナはスタッフが 2 時間おきに点検を行い備品等の消毒清掃を行います。
- 採暖室は、プール監視スタッフが定期的に換気と消毒清掃を行います。
- 各種マシンは、ジムスタッフがエリアを巡回しながら消毒清掃を行います。
- 各エリア備品については、定期的に消毒清掃を行います。
 - ◇ ここでいう「共有箇所」とは「各エリアのドアノブ、トイレ、フロント、ロッカールーム、パウダールーム、サウナ・採暖室、各種マシン、各エリア備品」のことである。
 - ◇ ここでいう「消毒清掃」とはアルコールの噴霧とふき取りのことである。

➤ 利用者への共有器具の都度消毒と手洗いを注意喚起（掲示、スタッフからの声掛け、定期的な館内放送）

・ 安全距離の確保

- 運動中はもちろん、館内移動、器具利用、休憩中であっても利用者同士の距離を利用者同士が密集しないように、注意喚起を行います。
- ロッカーや浴室、サウナなどでは、譲り合いによりお互いの接触の回避を注意喚起します。

・ 全員マスク着用

- スタッフは、コーチやインストラクターも全員がマスク着用で業務にあたり、指導時もマスクをして行います。呼吸のしやすい専用マスクやフェイスシールドを使用します。
- お客様も施設利用時はマスクの着用を必須といたします（※プール・浴室エリアを除く）。
- フロント入退館時や利用者同士での会話、スタッフとの会話の際は、マ

スク着用を必須とします。口元を覆っていれば鼻を出す事は可とします。ただしマスク着用時は熱中症の危険性も高まりますので、通常の運動強度よりも下げることを推奨いたします。

水分補給をこまめに行い、呼吸のしやすい専用マスクやネックゲイターなどの使用を、一般用マスクでも鼻を出すなど安全性を確保します。

2. エリア指針

・ エントランス

- 「施設利用におけるガイドライン」を入場前のお客様の目に必ず触れる位置（場所、目線の高さ）、大きさ（約A2 サイズ）で掲示をします。風除室またはフロントなど館内入口に掲示します。
- ウイルス侵入の水際である入口へ消毒液を設置します。また消毒履行の呼びかけも掲示します。

・ フロント

- フロントでの接客にはアクリル板・透明ビニールカーテン等を設置し、スタッフと来館者の飛沫感染を防止します。
- 利用者入館時の非接触体温計による体温チェックと体調確認のご協力をお願いしております。またマスクまたはネックゲイターなしでの入館はお断りします。

・ トレーニングジムエリア

- 1時間に5回転以上の機械換気もしくは窓を開放して十分な換気を行います。
- レジスタンスマシンは利用者をはじめスタッフによる消毒清掃を強化します。また、利用状況により台数制限をする場合があります。
- 利用者にはマスク着用を必須とします。但し、プールエリアと浴室では安全性の問題から着用を必須とはしませんが、会話は禁止とさせていただきます。
- 利用者にはマシン利用後は、触れたところ、汗の飛んだところを消毒剤と使い捨てペーパーまたは専用タオルで消毒していただきます。また不履行者への口頭注意による徹底をします。
- フリーウエイトも同様に使用後の消毒を利用者に徹底していただきます。

・ スタジオ

- 利用者の距離は一定の距離を保ち人数制限し、お互いに接触しないようにします（ハイタッチなどの行為も禁止します）。

- レッスン前のスタジオ入口に於ける参加者入場待機場面では、順番待ちの密集が生じないように、十分なソーシャルディスタンスを確保するよう工夫します。
 - インストラクターは大声を出さず、マスク着用の上、インカムマイクを使用します。
 - プログラム中は機械換気を行います。
 - スタッフ、インストラクターもプログラム時のマスク着用は必須とします。ただし水分補給の際や鼻を出すことは可としております。
 - 参加者はマスク（フェイスシールド・ネックゲイター可）を着用し一定の距離の確保を徹底します。熱中症防止対策としてマスクでも鼻を出すなどの使用を可とします。
 - プログラムとプログラムの間隔を 15 分以上とり、プログラム後に毎回、床やマット等プログラムで使用した備品の消毒清掃を徹底、換気も十分にを行います。
- ・ プール
 - 水質管理を徹底し、1 時間ごと計測し、塩素濃度 0.4ppm 以上をキープし、ウイルス不活性化を徹底します。また同プール水で定期的に流水洗浄します。
 - プールプログラムの所要時間は 45 分以下といたします。
 - プール内での利用者の接触を避けるよう、コースエンドでの人溜まりや、密接しての会話がないようにチェックします。
 - アクアレッスンではお互いに接触しない距離での人数制限を行います。インストラクターはマスクを着用し、大声にならないようインカムマイクで指導します。発声などは禁止します。
 - ウォーキングプールでも、接触しないよう距離を空けて利用し、歩きながらの会話は禁止します。スタッフは必要に応じて口頭で注意します。
- ・ ロッカー・パウダールーム
 - 混雑しないよう時間差利用などで密集を避けるように協力を要請します。
 - 利用中にお互いが接触しないよう、譲り合って利用することを促します。
 - ロッカー内でも極力マスクを着用し、マスクなしでの会話は禁止します。
 - パウダールームにも消毒スプレーを設置します。

- ・ 浴室・サウナエリア
 - 混雑しないよう時間差利用などで密集を避けるように協力を要請します。
 - 利用中にお互いが接触しないよう、譲り合って利用することを促します。
 - 石けんやボディシャンプーを使用した手指や体の洗浄を促します。
 - サウナは密集を避けるため利用可能な座面の位置を指定し人数制限を行い、室内での会話も禁止とします。また定期的にスタッフが扉を開閉し換気を行います。サウナご利用後のマットは利用者が水でよく洗い流し所定位置に戻してもらいます。
 - 浴室・サウナ内での会話はマスク着用を必須としないため禁止とします。

- ・ 脱衣・水切りスペース
 - 利用中にお互いが接触しないよう、譲り合って利用することを促します。
 - 脱衣所での会話はマスク着用を必須としないため禁止とします。

- ・ ラウンジ、休憩スペース
 - 常時機械換気を行います。
 - 混雑しないようテーブル・椅子の間隔を十分に空けて、密集と接触を回避します。
 - ラウンジスペースでも、密接しての会話は禁止とします。極力、飲み物を飲むなどの休憩の利用を要請します。
 - 長時間での利用を避けるよう協力を要請します。

- ・ スイミングスクール・ジュニアスクール
 - 子供対象のスイミングスクール、ジュニアスクールにおいては、地域の休校期間中は休講にし、地域の状況に合わせて柔軟に対応します。
 - 入館時には子供も大人も体温計測、風邪症状のチェックなど、全員に入館時チェックを行います。
 - スイミングスクールでは、プールの水質検査を1時間毎に行い、塩素濃度0.4ppm以上をキープし、ウイルス不活性化を徹底します。
 - 体操教室やダンス教室では、室内の換気と窓や扉の開放を行い、お互いに一定の距離を守り、密接した会話をさけ、感染予防を徹底した指導を行います。

以上